

科目分類	専門職の教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
73106	2	前期	必修	1	30
授業科目名 (英文)	基礎看護援助方法Ⅲ（治療を受ける患者の援助） (Basic for Evidence Based PracticeⅢ)				
担当教員名	宮本 千津子／吉田 澄恵／阿部 恭子／安藤 瑞穂／平田 美和 大西 淳子／新井 麻紀子／藤巻 郁朗／伊能 美和				
授業の概要及び到達目標					
授業概要 本科目では、治療を受ける人が必要とする看護援助のうち、汎用性の高い援助技術について学修する。その際、治療・診断および看護援助の目的と、人の身体・生活に与える影響を理解するとともに、これらのリスクを最小限にとどめ安全・安楽に治療や援助を受けられるようにするための観察・援助の考え方と方法についても理解する。					
到達目標 1. 治療や診療を受ける人が必要とする看護援助のうち汎用性の高い援助技術について、援助目的、人の身体・生活に与える影響を説明できる 2. 治療を受ける人へのリスクを最小限にとどめ、安全・安楽に治療や援助を受けられるように観察内容、アセスメント項目を説明できる 3. 治療が必要な人への具体的な看護援助について説明でき、且つ安全安楽に実施できる					
準備学習等					
1. 各項目とも、「体の仕組みと働き」の内容、基礎看護援助方法Ⅰ、Ⅱの関連する内容を復習してから授業に臨むこと。 2. 授業に際して事前学習課題・ワークシート等を配布するので、各自その内容を予習してから授業に臨むこと。 3. 学内演習に際しては、演習内容について十分自己学習をしてから臨むこと。					
成績評価の方法	筆記試験 60%、実技試験 30%、記録物（指定課題など）10%を成績対象とする。ただし、筆記試験、実技試験、記録物それぞれで 6 割以上の評価を得ることを単位取得の条件とする。				
テキスト	・茂野香おる他,「系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[2]基礎看護技術Ⅰ」第 17 版, 医学書院, 2019. ・任 和子他,「系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[3]基礎看護技術Ⅱ」第 17 版, 医学書院, 2017				
参考図書	適宜紹介する。				

備 考	本科目の受講には、既習の基礎看護援助方法Ⅰ・Ⅱの内容を理解していることが前提となる。 出席については 20 分以上の遅刻は欠席とみなす。
授 業 計 画	
第 1 回 治療を受ける人への援助の基本 治療を受ける人への感染予防 第 2 回 治療を受ける人への感染予防（無菌操作） 第 3 回 検査を必要とする人への看護 第 4 回 検査を必要とする人への看護（静脈血採血） 第 5 回 薬物療法が必要な人への看護 第 6 回 薬物療法が必要な人への看護 第 7 回 薬物療法が必要な人への看護（皮下注射） 第 8 回 薬物療法が必要な人への看護（静脈内持続点滴管理） 第 9 回 呼吸管理が必要な人への看護 第 10 回 呼吸管理が必要な人への看護（酸素療法・口腔内吸引） 第 11 回 創傷管理が必要な人への看護（創傷処置・ドレッシング法） 第 12 回 排泄援助が必要な人への看護 第 13 回 排泄援助が必要な人への看護（一時的導尿） 第 14 回 排泄援助が必要な人への看護（一時的導尿） 第 15 回 実技試験 ※授業の進捗状況により変更する場合があります。	